



日々の子どもたちの姿をお届けする
都台こども園・にこにこ園 園通信

あそぶ

2023年11月6日(月)

NO.51

10月の未満児の運動会では、5歳児が準備や見守りなどお手伝いに励み、園全体で運動会を盛り上げました。

未満児の運動会では、4, 5歳児の大声援のもと、一緒に体操やダンスも楽しみました。



ハロウィーンは仮装して、ルールのある遊びや、5歳児はお化けに変身し、年下の子ども達とダンスで交流

異

年齢保育を通して

都台こども園、にこにこ園は、0歳から5歳までの異年齢の子ども達との様々な関わりや交流を大切に保育を進めています。子ども達が社会に出れば、異年齢の他者と接する機会は多くなります。幼児期から様々な年齢の子ども達と関わることで、**協調性や社会性**といった必要な能力を養うことができます。

また、年下の子どもが年上の子どもから遊びのルールを学んだり、年上の子どもが年下の子どもに言葉を教えたり、お世話をしたり、刺激し合いながら成長することで、**他者への思いやりの心を育むきっかけ**となります。

都台こども園では、4月の入園当初、5歳児が「お世話週間」と名付けて、園生活に慣れない未満児や3歳児クラスに出かけて、昼食の援助や着替えのお手伝いなどお世話に行きます。不安で泣いていた子ども達も、お兄ちゃん、お姉ちゃんの温かい思いやりの気持ちに触れて笑顔になり、5歳児も年長児としての自覚も芽生え、自己肯定感にもつながっています。4月より少しずつ交流を深め、日々の散歩も手をつないで一緒に出かけ、七夕祭りや運動会、ハロウィンパーティなどの行事も共に楽しみました。

異年齢保育を通して、**子ども達が年齢の枠を超えてお互いに学び合い成長していく姿**を身近に感じ、今後ともこども園という温もりのあるお家で、子ども達が家族のように互いに、支え合いながら共に育つ姿を見守っていきます。

